
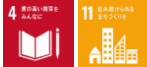


施策マネジメントシート(2022年度の振り返り、総括)

作成日 2023 年 6 月 12 日

基本目標	IV	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 課長	生涯学習課 丸山 浩文	 
施策	23	文化財の保存と活用	関係課			

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町民 ②町内の文化財			①文化財に対する意識を高め、保存と活用を行う。 ②適切に保存される。	1 文化財の保存
			2 文化財の活用	①町民 ②町内の文化財	①文化財に関心を持つ。 ②広く周知される。
			3		
			4		

施策の基本方針

- 文化資産の総合的な把握と計画的な保存を進め、町民に文化財や伝統芸能に触れる機会を創出することで、文化資産を身近に感じ、郷土に対する理解と関心を高めます。
- 町内に残る多くの文化財や伝統芸能を引き続き適切に保護・継承するとともに、町内に眠る未指定の文化資産の調査を進めます。
- 文化財施設とそで行われる伝統行事を併せて保存するなど、文化資産の価値を高め活用につなげます。活用を行うにあたっては、その活用によって与える文化資産への影響を認識したうえで、関係各署と連携して広域的に検討を行います。

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	地域の伝統芸能に参加している町民の割合	%	実績値	8.5	19.1	18.3
			目標値		8.4	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3
B	指定文化財の数	件	実績値	102	103	103	103	103	103	103
			目標値		103	103	103	104	104	105
C	地域で継承されている伝統芸能の数	件	実績値	30	30	30	30	30	30	30
			目標値		30	30	30	30	30	30
D			実績値							
			目標値							

実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
町民アンケート(翌年度実施分)により把握
※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能(祭りや神楽、獅子舞など)に参加する」と回答した人の割合

B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
主管課で実数を把握
※国、県、町の指定を受けている文化財の数

C) 直接的な設問であり、数値が維持できれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施

目標値設定の考え方

A) 伝統芸能の本来の意味に賛同し、新たに継承に携わる人を確保するのは容易なことでは無い。少子・高齢化の進展により、携わる人が徐々に減少するのは必然と考える。しかし、前より大切に継承されてきた伝統芸能を後世へ引き継ぐために、現地域での行事に参加するなどし、少なからず興味を示している町民を繋ぎ止める取り組みを進めることで現状維持を目指す。

B) 経年とともに老朽化が進む文化資産を適切に保存できれば、現在の町内指定文化財103件の維持ができ、そのうえで未指定の文化資産の調査を進め、最終年度までに2件以上指定することで105件にする。

C) 教育委員会が把握している地域の伝統芸能(太々神楽・獅子舞等)は現在30件である。伝統芸能は一度絶やすと、復活が厳しいのが現状です。いずれも後継者・財政面は厳しい状態ですが、補助金の有効活用や後継者育成に様々な工夫を凝らし、適切に保護することで、この30件を減らすことなく後世への継承を目指します。

施策の目的・役割	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<ul style="list-style-type: none"> 身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・活用に協力する。 地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護・管理する。 後継者の育成を支援するなど、無形文化財の継承を推進する。 町民が郷土や歴史への認識を深められるよう、資料館の活用を図り文化財に関する情報提供・発信をするなど、普及啓発活動に取り組む。 文化財行政の枠にとらわれず、関係各署と連携して文化財の活用事業を展開する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の老朽化が進行している。今後も定期的に補修していかねばならない。 人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少し、後継者の育成が困難な状態となる。結果として伝統芸能の減少へとつながる。 文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視という理由ではなく、あくまでも文化財保護を前提に、その条件をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方である。 	<ul style="list-style-type: none"> 月夜野郷土歴史資料館の開館日を増やし、展示内容を工夫して欲しいとの要望がある。 文化財の修繕や備品購入の補助に関する要望が寄せられている。 予算的な措置と併せて、後継者の募集・育成などに協力して欲しいと要望がある。 町の伝統芸能は各地域で数多く伝承されており、その伝統芸能を町内で発表する機会をつくる必要がある。 町内には、まだ多くの貴重な文化財が存在しており、町指定文化財の拡充を図って欲しい。 エコパークの指定や戦国ブーム・国指定絹遺産群など自然、歴史、文化等に対する興味・関心が高まっているなかで、文化財の理解・保存・活用が一層望まれる。 町には、多くの遺産が残っているが、展示施設や博物館が充実していないため、学ぶ機会を阻害している。 町の遊休施設を有効活用し、みなかみ町の文化財や歴史遺産を広く発信すべきである。

施策	23	文化財の保存と活用	主管課	名称	生涯学習課
				課長	丸山 浩文

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因		
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①地域の伝統芸能へ参加している町民の割合は、平成30年度が18.3%、令和元年度が17.9%、令和2年度が17.2%、令和3年度は13.5%、令和4年度は14.1%。目標値よりは依然として高いがコロナ前と比較すると低い。いまだにほとんどの活動が自粛されていることが要因と考えられる。 ②指定文化財数は、管理者を中心に地域の方々の協力のもと、平成29年以降103件を維持できている。 ③地域で継承されている伝統芸能の数は、平成28年以降30件が維持されており、指定文化財と同様に地域住民の努力により大切に継承されている。ただし、令和2・3年はコロナのため神社の祭典等は行っていない。	
		<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。			①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は非常に多い。要因として、歴史的遺産を文化財指定するには、文化財調査委員や教育委員会の判断によることから、町民の歴史に対する意識が高いことがうかがえる。 また、一般的に街道沿いには文化財が多いことから、三国街道があったことも大きな要因と考えられる。 ※令和5年3月31日現在の各市町村の指定文化財数(単位:件) みなかみ町 国:8 県:22 町:73 計:103 沼田市 国:3 県:15 市:73 計:91 片品村 国:3 県:4 村:53 計:60 川場村 国:0 県:5 村:5 計:10 昭和村 国:0 県:2 村:19 計:21
		<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。			
<input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。					
<input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。					
② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり低い水準である。				
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。				
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。				
	<input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。				
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。		①地域の伝統芸能に参加している町民の割合は、目標値の8.3%を大きく上回り14.1%であった。 ②指定文化財の数は、目標値の103件を維持できた。今後も文化財調査委員と連携し、地域に眠っている文化財の掘り起こしを継続していく。 ③地域で継承されている伝統芸能の数は、目標値の30件を維持できた。		
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。				
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。				
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。				

基本事業の成果指標	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度					
					1	文化財の保存	A 文化財の保護活動者数	人	実績値	672	705	1,616	271	241	201	721
									目標値		650	640	630	620	610	600
		B 適切に保存される文化財の数	件	実績値	102	103	103	103	103	103	103					
				目標値		103	103	103	104	104	105					
2	文化財の活用	A 資料館の入館者数	人	実績値	1,164	960	1,009	964	897	214	996					
				目標値		1,050	1,000	950	900	850	800					
		B 文化財の見学者数	人	実績値	68,331	21,684	26,470	29,236	18,818	12,318	19,404					
				目標値		22,000	22,000	22,000	21,500	21,500	21,000					
3		A		実績値												
				目標値												
		B		実績値												
				目標値												
4		A		実績値												
				目標値												
		B		実績値												
				目標値												

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
	1	文化財の保存	①文化財は時代の経過と変化する社会情勢の中で、遺失・風化・管理者不足・老朽化等諸課題が懸念されている。計画的な保存と普及活動を進めることが必要である。 ②伝統芸能・文化は過疎化や高齢化に伴う後継者不足、時間の経過による道具等の損傷により、その継承や保存は容易ではないため支援が必要がある。
2	文化財の活用	①文化財は保護を最優先に、一過性では無い恒常的な観光・学習資源として活用を図る施策が必要である。 ②町内の資料館は展示方法に変化が無く、定期的に展示替えを行う等の工夫を凝らす必要がある。	①町歴史ガイドの会や関係部署等と連携し、観光資源として文化財の活用を進める。 ②月夜野歴史民俗資料館の展示替えを継続するとともに、町内に点在する資料館等の統合計画も検討し、文化財の活用を図る。

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	月夜野郷土歴史資料館管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,180,724 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	月夜野郷土歴史資料館の管理運営		若山牧水企画展を実施した。		事業実績			
	基本事業	02	文化財の活用					来館者数			
組織名		生涯学習 課	生涯学習 係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3	展示内容を毎年、変更し、マンネリ化を防ぐ。	企画展示、展示替えを毎年行い、展示内容のマンネリ化を防ぐ。	214	205	人

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	水上歴史民俗資料館管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	27,284 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	水上歴史民俗資料館の管理運営		利根商・JR連携事業の「駅からハイキング」に協力し、水上歴史民俗資料館をコースに入れた。		事業実績			
	基本事業	02	文化財の活用					来館者数			
組織名		生涯学習 課	生涯学習 係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3	観光部門との提携、より一層の展示内容の工夫が必要。玄関軒先の老朽化が著しい。	授業や観光イベントによる資料館活用を増やす。	0	65	人

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	雲越家住宅資料館管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	457,079 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	雲越家住宅資料館の管理運営		コロナ以前の開館体制に戻したが、依然として一般客の入館はきわめて少ない。教育旅行や学校からの利用は原則、受けている。		事業実績			
	基本事業	02	文化財の活用					来館者数			
組織名		生涯学習 課	生涯学習 係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3	基本的に入館者数はきわめて低い。しかし、資料館自体が国指定であるため、現状を維持しなければならない。	国指定文化財であることから中身を改変することが難しいが、ルールに基づいたうえで展示替え等を行い、見学しやすい環境作りに努める。	150	135	人

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	永井宿郷土館管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	683,700 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	永井宿郷土館の管理運営を永井国指定管理に出している。		なし		事業実績			
	基本事業	02	文化財の活用					来館者数			
組織名		生涯学習 課	生涯学習 係	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		令和 3年度	令和 4年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3	課題なし	なし	269	394	人

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000006	猿ヶ京開所資料館管理運営事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,221,349 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用		猿ヶ京開所資料館の管理運営	特になし	事業実績			
	基本事業	02	文化財の活用				入館者数	令和 3年度	令和 4年度	単位
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係	特になし		703	762	人	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	3				

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000005	文化財保護総務事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	107,481 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用		文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究・文化財公開を行う。	特になし	事業実績			
	基本事業	01	文化財の保存				資料館(月夜野・水上・雲越・猿ヶ京・永井)見学者数	令和 3年度	令和 4年度	単位
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係	コロナのため、文化財調査委員のレベルを高めるための研修活動が行えない。 文化財調査委員の高齢化が目立つ。		1,336	1,561	人	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	4				

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000007	文化財啓発事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	99,406 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用		従来は文化財の保護が重視されていたが、近年は活用も含めた施策の展開が求められている。この啓発事業により観光資源としての活用を含めた啓発事業を行う。	利根商・観光商工課・観光協会と積極的に連携し、高校生による名胡桃城址のジオラマを作製や駅からハイキング等を実施した。	事業実績			
	基本事業	02	文化財の活用				名胡桃城址来場者数	令和 3年度	令和 4年度	単位
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係	活用の際には、一過性ではなく恒常的な活用を進めることが求められる。		11,438	18,407	人	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	4				

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000003	町指定文化財管理事業			① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,037,208 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用		文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、73件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。	文化財指定のレベルを保つため、これ以上はあまり指定しない。しかし、所有者等の文化財を大切にする意識も保つため、指定文化財とは別の文化財制度を検討する。	事業実績			
	基本事業	01	文化財の保存				月夜野郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している)	令和 3年度	令和 4年度	単位
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係	所有者から文化財指定してほしいという要望がコンスタントにある。		214	205	人	
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	4				

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000002	県指定文化財管理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,172,835 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。		○猿ヶ京関所跡…玄関引き戸修繕の見積済み。 ○名胡桃城址…令和5年度に直営作業員に依頼する。 ○相俣のさかさざくら…令和5年度に直営作業員に依頼する。		事業実績			
	基本事業	01	文化財の保存					主な文化財の見学者数(名胡桃城址)			
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	4	○猿ヶ京関所跡…要 玄関引き戸修繕。 ○名胡桃城址…見学路に枯れ木あり。要伐採。 ○相俣のさかさざくら…本体とは別の蔓が巻いている。	猿ヶ京関所跡については、茅葺き屋根の傷みが著しくなっている。毎年、少しずつ修繕を実施することにより、なるべく大規模改修しなくて済むようにする。	令和 3年度	令和 4年度	単位
									12,049	18,407	人

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000001	国指定文化財管理事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,497,215 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、町内には8件の国指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。		特になし		事業実績			
	基本事業	01	文化財の保存					国指定文化財のある資料館見学者数(雲越家・水上・月夜野)			
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	4	国指定文化財の老朽化が目立ち始めている。 ○雲越家住宅…茅葺き屋根、消防用設備 ○旧戸部家住宅…茅葺き屋根、消防用設備 ○矢瀬遺跡…遺跡復元施設(復元住居等)	旧戸部家住宅については、湯原地区再整備計画の進捗状況を考慮しながら改修していく必要があるが、雲越家住宅、矢瀬遺跡については、毎年少しずつ修繕を行うことにより、数千万以上の大規模改修をしなくて済むよう、計画的に修繕を行う。	令和 3年度	令和 4年度	単位
									364	405	人

令和 5 年 7 月 3 日作成 (令和 年 月 日更新)

事務事業	000004	埋蔵文化財調査事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	0 円		
施策体系	施策	23	文化財の保存と活用	埋蔵文化財包蔵地で開発が行われる場合に、事前に試掘調査を行う。		日常的な調査研究等		事業実績			
	基本事業	01	文化財の保存					埋蔵文化財包蔵地確認(照会)			
組織名		生涯学習 課		生涯学習 係		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1 款	10 項	5 目	4	いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備をしておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならぬ。	今後も周知の埋蔵文化財包蔵地内での開発事業(特に太陽光パネル関係)があることが考えられるため、常に調査研究を行い発掘調査に備える。	令和 3年度	令和 4年度	単位
									18	26	件